



浪高だより

Aomori Pref. Namioka High School

第 7 号 8 月 11 日発行

〒038-1311 青森県青森市浪岡大字浪岡字稲村 101-2

TEL 0172-62-4051(代表) fax 0172-62-1556

<http://www.namioka-h.asn.ed.jp/>

2020

創立90周年

浪岡高校

「中学生の高等学校体験入学」(学校説明会) 実施

8月4日(火)

暑い中、本校へ入学を希望する中学3年生40名、保護者及び引率者13名に対して、中学生の高等学校体験入学(学校説明会)が行われました。生徒の司会進行のもと、はじめに教務主任からは学校概要について、進路指導主任からは卒業生の進路状況についてなど学校案内等を資料にして説明されました。その後、生徒会役員が学校生活や部活動、生徒会行事等について生徒たちが頑張っている様子を紹介し、本校の魅力をアピールしました。最後には、生徒会役員と有志による1/5ミニ空き缶壁画の後方に、空き缶壁画(「原寸大」)を体育館ギャラリーに吊り下げ、本校の伝統行事「空き缶壁画」活動を一緒にやりましょうと呼びかけました。

中学生の皆さん、日々の学習や規則正しい生活を積み重ね、来年度の春から私たちと一緒に「浪高」で学びましょう。生徒一人ひとりが主役になれる浪岡高校よろしくお願いします。



青森県高等学校総合体育大会代替大会

バドミントン部男子 完全勝利! (全試合3-0)

7月30日(木)にマエダアリーナで行われたバドミントン男子団体において、全試合とも3-0の完全勝利で男子団体優勝を果たしました。決勝戦においても、青森山田高校相手に1試合も与えることなく、完全勝利を収めました。新型コロナウイルス感染症の影響でインターハイが中止になり、部員たちも気を落としていましたが、この代替大会に向けて気持ちを直し、思う存分戦おうという気迫が感じられる試合でした。

8月には、インターハイの代替大会ともいえる全国の強豪チームだけが集まって行う大会もありますので、今後の活躍も期待しています。

男子団体

【2回戦】	3-0	明の星
【3回戦】	3-0	弘前南
【準決勝】	3-0	弘前工業
【決勝】	3-0	青森山田
八岩・飛田	2-0	
渡邊・後藤	2-0	
三橋	2-0	



令和2年度 夏季青森県高等学校 野球大会 開催

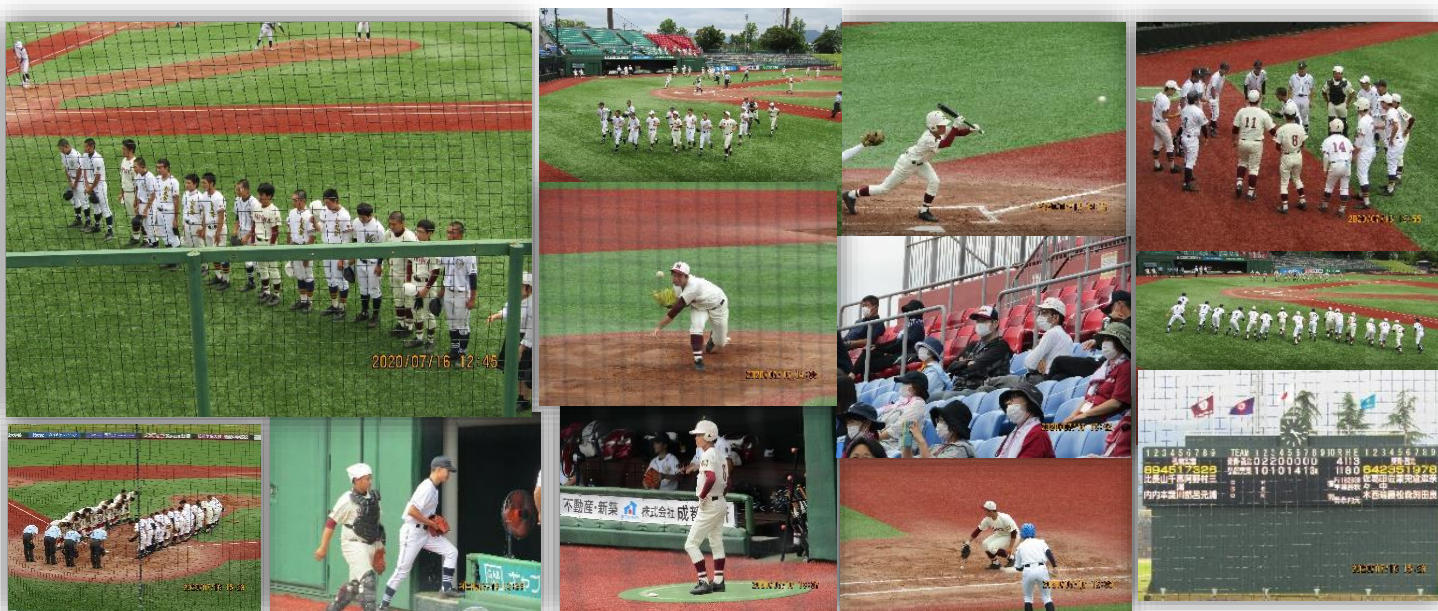
R	H	E	1	2	3	4	5	6	7	8	9
1	4	2	3	6	9	7	5	8			
佐	葛	田	佐	兼	兜	倉	澤	奈			
木	西	瑞	藤	松	森	淵	田	良			

東青・西北	0	2	2	0	0	0	0	0	4
弘前実業	1	0	1	0	1	4	1	3×	11 8回コールド

全国高等学校野球選手権青森大会の代替大会として、令和2年度夏季青森県高等学校野球大会が7月14日から開催されました。本校は今年度、東青・西北連合（浪岡4人・板柳6人・金木1人・松風塾5人の計16人）としての参加となりました。16日（木）に行われた大会では、新型コロナウイルス感染症対策のため無観客での開催となり、例年とは違う雰囲気の中、大会が始まりました。

試合は、はるか夢球場で弘前実業と対戦し、序盤は相手を圧倒する試合展開となりました。初回こそ得点はできなかったものの、いきなり2安打で1アウト2・3塁のチャンスを作りました。その裏、弘前実業に1点を先制されるも、2回表には下位打線からチャンスを広げ、2点タイムリーヒットで先制。3回にもソロホームランなどで2点を追加しました。5回終了時には4-3とリードしとても良いゲーム展開でした。しかし、6回に連続フォアボールから逆転を許してしまい、その後も加点され、4-11（8回コールド）で初戦敗退となりました。

本校の奈良大空（2年）は先発出場し、1安打1四球2盗塁の活躍。5回に救援した唐牛魁士（1年）はサウスポーで要所を締め存在感をアピールしました。今大会ベスト4の弘前実業高校を相手に善戦したことは、来年のある本校生徒にとって大きな自信となりました。学校は違い、限られた練習環境の連合チーム。それでも来年はぜひ勝利で全校生徒に感動を与えられるようになってほしいです。



学校再開後の部活動の様子（いつものように活動できることが楽しい）



「浪高たより」は、本校 HP に掲載しています。